

令和5年度 合同防災訓練報告

1. 実施日時

令和6年1月16日(火) 13:30~15:50

2. 実施場所

香川県高松土木事務所 1階入札室

3. 実施内容

(1) 支援活動の流れの説明(技術士会事務局)

(2) 机上型IMP訓練・講評

(元 香川大学客員教授 岩原廣彦氏)

4. 参加者

香川県から高松土木事務所の廣瀬所長をはじめ13名、香川県技術士会から末澤会長をはじめ15名、合計28名の方に参加いただきました。

当日は、末澤会長・廣瀬所長の挨拶で始まり、支援活動の流れの説明に続いて、机上型IMP(Incident Management Plan)訓練を行いました。

参加者名簿

No.	香川県	香川県技術士会
1	廣瀬 治	末澤 等
2	多田 政樹	岩原 廣彦
3	宮本 和紘	飯田 博司
4	山地 由頭	石垣 孝行
5	小西 敏雄	大川 義明
6	喜多 亮史	塚元 龍馬
7	寒川 貴之	三井 修二
8	横井 慶三	江原 真司
9	高德 智彦	藤田 啓輔
10	秋山 卓也	長太 正人
11	平木 健登	前野 慎介
12	中村 勇夫	阿部 剛士
13	松本 拓郎	廣瀬 尚二
14		若松 大志
15		山本 房市

5. 訓練内容の報告

当訓練は、H18年に香川県と香川県技術士会が締結した防災支援協定に基づき、H20年度より始まり、当初はトンネルや橋など現場で実際に点検や対策検討等を実施しましたが、H27年度からは、室内で支援活動の勉強や、意識啓発を主体とした訓練を実施しています。(R2~4年度は、コロナ禍のため訓練を中止)

折しも、今回の訓練では、年明け早々に能登半島地震が発生したこともあり、参加者は例年以上に真剣に取り組んでいただきました。

まず、大規模災害の発生に伴い、香川県から支援要請を受けた後の技術士会における情報伝達および支援活動の流れや支援対象施設などについて、協定書などをもとに再確認しました。

次に、岩原先生から南海トラフ地震で想定される災害・被害について説明を受け、災害の規模と地震発生から事業の全面復旧までの時間について再認識し、初期行動の重要性和BCP(Business Continuity Plan)に基づく基本計画策定と周知の大切さを学びました。

さらに、参加者は、机上型IMP訓練の概要・実施要領について学んだ後、8名3グループに分かれて、高松市にある会社の社員という設定で、災害対策本部の要員(プレイヤー)としての共通認識の下、コントローラーからの状況付与や設問に対し、班別に議論しながら対応を実施する初動訓練を行いました。その結果、災害のイメージトレーニング(災害時対応の疑似体験)をすることで、組織(企業)のBCPの重要性を再認識し、実際に自分の所属する組織のBCPを検証する必要があること等を学びました。訓練では、次々にいろいろな状況が与えられ、その都度各班で初動対応を行う大変臨場感に溢れたものであり、途中で、訓練として余震警報を流しましたが、みなさん議論に集中してシェイクアウトを実施し忘れる場面もありました。

訓練の最後に、各班からの取り纏め結果の発表を受けて、岩原先生より、情報によっては対策の必要の無いものもあり、重要度レベルによって対策の優先順位をつけて対応することが大切であること等のご講評をいただきました。

技術士会事務局としては、支援活動技術士への登録を推進するとともに、今後も引き続き訓練内容のブラッシュアップを図ることで、皆様のより一層のご参加を期待しています。

(文責：事務局 山本)



香川県技術士会 末澤会長挨拶



香川県 廣瀬所長挨拶



合同防災訓練状況



I M P 訓練 (岩原先生による概要説明)



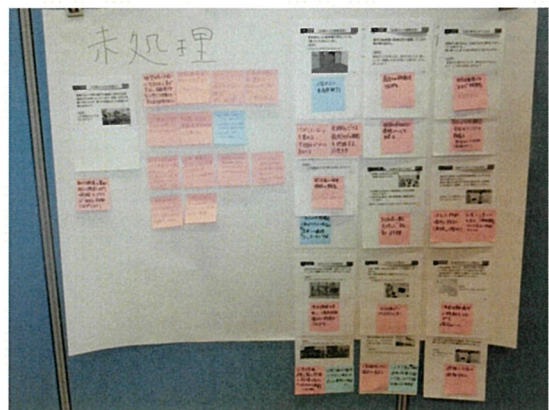
I M P 訓練 (班別討議)



I M P 訓練 (班別討議)



I M P 訓練 (訓練の結果発表)



I M P 訓練 (訓練の結果シート)